

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並保健所維持管理				整理番号	453		枝番号		
担当部課名		杉並保健所 地域保健課		コード	150301		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	441
係名				管理係				上位施策名		No	
予算事業名				杉並保健所維持管理		コード	49250		健康なまちづくりの推進		22
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		11年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則				
	保健所および保健医療センター利用者						(2) 杉並保健所設置条例				
	保健所および保健医療センター利用者						(3) 杉並区立保健医療センター条例・同施行令				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				保健所および保健医療センターの 庁舎維持管理 設 備保守管理 備品管理		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
施設及び環境を安全で快適な状態にする。											
活動指標名(式)				(1) 建物面積 (2) 保守委託契約件数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合件数 (2)					
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	m <sup>2</sup>	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426				
	活動指標(2)	件	12	14	14	14	15				
	成果指標(1)	件	12	19		15					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	140,012	139,277	114,076	86,525	104,572	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 平成11年4月竣工 建物面積は荻窪保健センターを含む。 事業の性質上、目標値は設定しない。 平成18年4月組織改正によりレイアウト変更。 画像診断システムの保守委託については、平成17年度までは事務事業評価表を別にしていた(17年度整理番号442)が、平成18年度から本評価表に組み入れた。		
	(内)投資的経費等		千円		368		194				
	(内)委託費		千円	63,176	60,761	74,749	54,532	66,857			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.61	0.43	0.61	0.44	0.61			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,486	3,913	5,527	3,986		5,527	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 ++		千円	145,498	143,190	119,603	90,511	110,099			
	単位あたりコスト( - )÷		円	22,642	22,226	18,612	14,055	17,133			
	財源	受益者負担分		千円	10	49	1	87		1	
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	10	49	1	87	1				
差引:一般財源 -		千円	145,488	143,141	119,602	90,424	110,098				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		建物総合管理委託(委託等)				1	件	23,542			
		光熱水費(電気・ガス・水道・電話)				1	件	19,357			
		機械設備保守点検業務委託(委託等)				1	件	19,110			
		画像診断システムの保守委託(保健予防課)(委託等)				1	件	4,058			
その他		(委託・修繕・維持管理用品・電柱広告使用料)					件	20,458			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	75.8
予防保全に係わる費用を必要最小限にとどめた。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年度の運営開始時は「休日等夜間急病診療所」を年間を通じて開設したが、平成12年度と13年度の平日は休止となる。平成14年度は平日夜間の「小児夜間急病診療所」を開設した。夜間の開設時間が延長となったため、警備員や駐車場管理の委託費が増大した。平成17年度に「杉並区急病医療情報センター」の委託事業の開始により、施設内の「テレホンサービス」が廃止となる。平成18年度地域保健課は新設され、保健予防課ではHIV検査、健康推進課では休日パパママ学級の委託事業などが始まり、土、日曜日の施設利用頻度は高まってきた。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保健医療センター講堂の目的外利用において、AV機器も借用できるようにしてほしいとの要望があった。				
	今後の予測	建物及び設備の劣化等により修繕費および保全費用等の経費が増大する。各課の事業の増減により維持運営経費も増減する。区民の要望もあったので、保健医療センターとしての機能の阻害とならない程度に、講堂のAV機器の充実を図る。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 ) ▼		理由:保健衛生行政及び健康都市づくりの核である保健所を利用する区民に対し、安全で快適な施設を提供することは、区民の保健福祉向上に必要である。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) ▼ 成果向上のための方策 その他(具体的内容 ) ▼		理由または具体的内容:  理由または具体的内容:定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制する。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 ) ▼		理由または具体的内容:各事業利用で負担があるため、当事業の受益者負担はない。平成15年度から開始した講堂の目的外利用の受益者負担は、条例に基づいており適正である。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 ) ▼		理由または具体的内容:環境マネジメントプログラムを徹底することにより光熱水費を縮減する。			
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) ▼		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) ▼		協働等による成果と課題 設備点検、清掃、警備等について委託する。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 ) ▼					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 予算がつき次第、快適な環境を提供するため、南側のロールカーテンを遮光性の高いものにする。また、利用者の少ない情報展示コーナーを会議室等に改修するなど、建物の効率的な使用を工夫する。環境マネジメントシステムの運用を継続して、職員一人ひとりの節水・節電・紙の節約等の意識を向上させる。CR機器は結核予防対策の一環としてのレントゲン撮影に使用するものであり、結核対策のあり方によって必要な機器が変わればそれに対応する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 民間の事業所も混在する複合施設なので、勤務する者の形態が違い、経費節減の目的意識の徹底が難しい。各課・事業所が実施する事業によって維持経費が増減する要素が大きく、一概に前年と比較できない。コンピューター機器であるCRは技術の進歩とそれに伴う低価格化が進んでいるため、適切な時期に更新することによりコストダウンを図る。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 「18年度予算見積の方向性」も「増減なし」としていたが、平成18年4月の地域保健課の新設や結核集中化に伴う大幅な増員のため、光熱水費は増加するとみられる。竣工後7年を経過したため、予防保全を考慮した、耐用年数を超える設備部品等の交換が発生する。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生統計調査等				整理番号	455		枝番号			
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	443		
係名				管理係				上位施策名		No		
予算事業名				衛生統計調査		コード	45550		健康なまちづくりの推進		22	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 統計法							
	厚生労働省で無作為抽出した世帯及び世帯員。出生、死亡、婚姻、離婚、死産届のあったもの。				(2) 統計報告調整法							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3) 地域保健法							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 実施調査数				(1) (代)調査件数								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	件	6	7	10	10	7					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件	12,911	17,075	18,000	14,940	15,000					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	942	1,985	3,248	2,228	2,666	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 調査内容は厚生労働省より指示があるため、目標値の設定には馴染まない。				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円										
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.50	0.52	0.50	0.52	0.52					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,497	4,732	4,530	4,711		4,711			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	5,439	6,717	7,778	6,939	7,377					
	単位あたりコスト( - )÷	円	906,500	959,571	777,800	693,900	1,053,857					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円	1,097	2,169	3,117	2,431		2,533			
特定財源計 +		千円	1,097	2,169	3,117	2,431	2,533					
差引:一般財源 -		千円	4,342	4,548	4,661	4,508	4,844					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)					
	中高年の生活に関する縦断調査				80	人	444					
	21世紀成年者縦断調査				64	人	417					
	国民生活基礎調査				376	世帯	336					
	国民健康・栄養調査				37	人	299					
	その他 (人口動態調査、乳幼児栄養調査等)						732					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	68.6
予定されていた統計調査が実施された。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	急速な高齢化、出生率の低下に伴う少子化、慢性疾患の増加等により地域保健を取り巻く環境は大きく変化している。一方で、国民の健康に対する意識の高まりから、衛生統計調査の種類・様式などの見直しが行われている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	個人情報の保護が叫ばれるなか、統計調査に対しての不信感、プライバシー侵害の意識が高まっている。				
	今後の予測	調査趣旨の理解を得られないことができず、調査を拒否する世帯が増加している。また、オートロックマンションによる訪問の難しさなどからも調査が困難な状況が続いている。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 衛生統計調査は、統計法で定められた指定統計等であり、厚生行政の基本資料として各種施策に反映されている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、調査目的、対象、規模が定められている。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 受益者負担は無いため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、調査目的、対象、規模が定められている。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、区で調査員を委嘱し実施する。統計法、統計法施行例で市区町村長の事務が定められている。				
	(3) 協働等の形態					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 統計調査の協力を得るためには、より多くの区民に調査内容についての周知が必要だが、国勢調査実施時において調査員と称し調査票を不正に回収するという事件もあったため、区民全体への周知は行っていない。区民全体への周知方法を検討するのか、調査該当地域のみの周知方法を検討していくのかを含め、調査票回収率を向上させていくことが急務である。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	平成19年度は18年度よりも統計調査数が減となるため。				



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		献血事業の推進				整理番号	456		枝番号		
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	444	
係名				管理係		上位施策名			No		
予算事業名				保健事業の推進		コード	45750		健康なまちづくりの推進		
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		53 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (2) 杉並区献血等推進連絡会設置要綱 (3) 献血の推進について(昭和39年8月21日閣議決定)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区献血等推進連絡会の開催及び運営を行う。 献血及び骨髄ドナー登録推進のためのPRポスターを掲示する。 献血等推進キャンペーンと区役所庁内での献血及び骨髄ドナー登録の実施。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 献血等思想の普及啓発に努め、安定した献血者及び骨髄ドナー登録者の確保を図る。				
	活動指標名(式)				(1) 区内献血者数 (2) 庁内献血実施回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区内献血目標(予定)者数と実際に献血した人数の割合(%) 献血者数 ÷ 献血目標(予定)者数 = 献血達成率 (2)				
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
	活動指標(1)	人	2,619	2,404	5,000	2,318	5,000	5,000	46.4		
	活動指標(2)	回	4	3	3	3	3	3	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	284	88	244	92	267	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円							成果指標	
	(内)委託費		千円							15年度	
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.21	0.21	0.20	0.11	0.10		・計画 5,000人	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,889	1,911	1,812	997	906		・実績 2,619人	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		16年度	
	総事業費 + +		千円	2,173	1,999	2,056	1,089	1,173		・計画 5,000人	
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	830	832	411	470	235		17年度	
	財源	受益者負担分		千円						・実績 2,318人	
		国・都等からの支出金		千円						18年度	
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		・計画 5,000人		
差引:一般財源 -		千円	2,173	1,999	2,056	1,089	1,173		・実績 2,619人		
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		近年、献血者は減少傾向にあるが、今後も目標値を5000人として、献血の推進に努める。		
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		献血ポスターの関係機関への送付(2回)					689	件	92		
		杉並区献血等推進連絡会の実施					1	回			
		その他 ( )							0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	46.4	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	37.7
		献血等推進キャンペーンについては献血等推進連絡会で協議し、平成17年度は実施せず、平成18年度に実施することとした。献血ポスターの関係機関への送付は、計画どおり実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		献血等推進事業については、骨髄バンクドナー登録もあわせて、区の役割を明確にして、充実を図っていく。中でも、区役所庁内での献血及び骨髄ドナー登録では、平成17年度途中から広報や区ホームページ、関係団体のホームページでの掲載を行い、広く区民に呼びかけ、実績向上を図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	献血者は昭和60年をピークに減少傾向にあるが、400ml献血や成分献血等の制度が施行されてからは、献血量には大きな減少は見られない。しかし、平成17年2月にクロイツフェルト・ヤコブ病の発生が国内で確認されたことから、献血者の減少が懸念され、厚生労働省を中心に全国の自治体で献血者確保のための対策が進められている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測	高齢社会に伴い、血液需要は増加傾向にある。一方で献血者は10代を中心に減少傾向にある。肝炎やHIV検査目的の献血者が増加しているが、そのような目的では受けないよう、啓発する必要がある。また、クロイツフェルト・ヤコブ病の発生による献血者の減少を招かないよう、全国的な献血者確保のための施策を講じる必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由 )	理由：献血キャンペーン等、献血推進のためのPRを行っているが、献血者は減少傾向にある。また、献血事業の大半は血液センターを中心として行われており、区が協力して行う献血はごく一部である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容：  理由または具体的内容：広報の方法を再検討することにより、献血等の実施についてのPRや啓発活動をより広く行っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容：受益者負担は発生しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容：献血等推進キャンペーンの方法見直し等でコストを削減することが考えられる。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題 区が行うべき献血等推進の役割を明確にし、血液センター、東京都献血対策担当、骨髄移植推進財団等と協議し、献血者及び骨髄ドナー登録者の確保に努めていく必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 献血事業の大半は血液センターを中心として、区内の日赤奉仕団、企業、学校などの協力のもとに実施されており、区が協力して行う献血の割合はごく一部である。区では、献血や骨髄ドナー登録について、広報すぎなみやホームページへの掲載、ポスター掲示などの方法により、区民への協力依頼や啓発活動を行うことにより、献血等推進事業を側面から支援していく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 杉並区献血等推進連絡会の運営を引き続き行い、献血等推進事業を継続的に支援していく。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		薬物乱用防止推進のための啓発活動				整理番号	457		枝番号			
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	445	
係名				管理係				上位施策名		No		
予算事業名				保健事業の推進		コード	45750		健康なまちづくりの推進		22	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		55年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 「ダム。ゼツタイ。」普及運動実施要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				厚生労働省、東京都及び(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターが主催する「ダム。ゼツタイ。」普及運動の実施に伴い、社会問題となっている薬物乱用の防止のため、薬物乱用防止推進杉並地区協議会が実施する各種啓発の活動を支援する。							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 啓発キャンペーン等実施回数 (2) 薬物乱用防止ポスター・標語応募件数							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績	計画		22年度			
指標	活動指標(1)		回	2	2	3	2	2		2	100.0	
	活動指標(2)		人	76	61			50		30	0.0	
	成果指標(1)		回	3	3	3	3	3		3	100.0	
	成果指標(2)		件	500	530	500	462	500		600	77.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41	15	30	24	79		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(2)区内覚せい剤事犯及び麻薬事犯送致人数は、警視庁のホームページの実績を記入した。平成17年度実績はまだ公表されていない。平成18年度から活動指標(2)と成果指標(2)を追加した。		
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.40	0.42	0.40	0.22	0.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,598	3,822	3,624	1,993	1,812			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	3,639	3,837	3,654	2,017	1,891				
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,819,500	1,918,500	1,218,000	1,008,500	945,500				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	3,639	3,837	3,654	2,017	1,891					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			薬物乱用防止推進のための啓発活動用ポケットティッシュ作成				1,500	個	24			
			その他 ( )						0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	66.7	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	80.0
		啓発活動用ポケットティッシュの半数を区で購入することとした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度の保健福祉部の重要課題である「未成年者等の飲酒・喫煙・薬物乱用防止策」を推進していく中で、区としても啓発活動を主体的に実施するため、啓発活動用ポケットティッシュの必要数を区ですべて購入することとした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並地区協議会は、昭和50年代半ばの「第2次覚せい剤乱用期」に設立され、薬物等乱用防止の推進に努めてきた。平成10年に「第3次覚せい剤乱用期」への突入が発表されるなど、近年の覚せい剤を中心とした薬物事犯者が増加傾向にある状況のなか、同協議会の活動がより重要となっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	薬物犯罪が巧妙化する中で、犯罪を未然に防ぎ、安全で平和な生活を送れるよう、杉並地区協議会の活動の一層の推進が期待されている。					
	今後の予測	近年、薬物犯罪の巧妙化、潜在化が言われており、引き続き予断を許さない状況である。薬物の乱用防止には、地域に根ざした活動が必要である。今後、よりいっそう関係機関の連携を強化するとともに、杉並地区協議会等による啓発を強力に進めていくことが求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 薬物乱用防止のためには、医療、教育、警察等の各分野での取組みが求められており、区が行う啓発活動も必要な取組みの一つである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 区民への広報活動の強化を図り、薬物乱用防止への啓発をより広く行っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 受益者負担には馴染まない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: キャンペーンの実施時期に合わせ、ポスター、リーフレット、配付用絆創膏などが東京都から送付されているので、区が人的支援に純化することは可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 同協議会が実施する「駅頭キャンペーン」、「ポスター・標語の募集及び表彰」、「薬物乱用防止のための研修会」において、準備のほか、キャンペーン参加、ポスター・標語応募者の作品の回収、参加記念品の購入など、事務局として協力している。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区と同協議会との役割分担を明確にしながらも、人的支援のみならず、区としての薬物乱用防止策を積極的に展開していく。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 同協議会との役割分担の明確化を図る。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減		<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 重要課題への取組みとして、平成18年度予算に啓発活動用経費を計上済みである。						



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助				整理番号	458		枝番号			
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	446		
係名				管理係				上位施策名		No		
予算事業名				保健事業の推進		コード	45750		健康なまちづくりの推進		22	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				50 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区健康保持事業補助金交付要綱							
	杉並区医師会、杉並区歯科医師会、杉並区薬剤師会、杉並区接骨師会、杉並歯科技工士会				(2) 医療技術研修補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3) 杉並区地域医療連携推進委員会運営費補助金交付要綱							
事業対象団体が実施する区民健康保持事業、医療技術研修事業、地域医療連携推進委員会運営費に対し、補助金を支払う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
活動指標名(式)				医師会・歯科医師会・薬剤師会が実施する健康保持事業を支援することにより、区民の健康保持増進等を図る。また歯科技工士会・接骨師会が実施する医療技術研修事業を推進することにより、会員の資質向上を図る。地域医療連携を推進し、区民の福祉向上に寄与する。								
(1) 補助金申請数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(2)				(1) (代)実施事業件数								
(2)				(2)								

  

区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	件	7	7	6	6	6	100.0	
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	件	31	31	31	29	26	96.7	
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,340	7,340	5,340	5,340	5,106	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円							
	(内)委託費	千円							
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,799	1,820	1,812	1,812		1,812
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	9,139	9,160	7,152	7,152	6,918		
	単位あたりコスト( - )÷	円	1,305,571	1,308,571	1,192,000	1,192,000	1,153,000		
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	9,139	9,160	7,152	7,152	6,918		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

  

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	区民健康保持事業補助金		3	団体	4,160
	地域医療連携推進委員会運営補助金		1	団体	828
	医療技術研修事業補助金		2	団体	352
	その他	( )			0

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	100.0
		予算額と比較して100%の申請額であり、事業報告も同様である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度補助金適正化審査会において、医師会への補助金のうち、地域保健医療連携推進事業の補助金について縮減の方向で見直すよう指摘があり、旅費(交通費)相当分を削減した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	健康保持事業に対する補助金で開始した。平成2年度から医療技術に対する補助金を、平成4年度から地域医療連携推進委員会に対する補助金を追加した。平成11年度から3ヵ年、看護学校に対する補助金を除き削減した。平成16年度末の医師会附属看護学校の閉校に伴い、看護学校への補助金を廃止した。平成18年度は医師会への補助金のうち、地域保健医療連携推進事業の補助金について削減した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし					
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 本事業費は補助金という性質上、直接的に成果は見られないが、各師会が行っている事業は区民の健康保持に大きな成果をあげていると考えられる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 専門知識を持つ各医療関係団体が対象であるため、他の方法での事業実施は困難である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 補助金であるため、受益者負担には該当しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 各師会の事業内容の検証・見直しにより、補助金をさらに縮減していくことが考えられるが、見直したばかりであり、当面は現状を維持する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題: 区民の健康保持のために医師会、歯科医師会、薬剤師会では講演会の開催、パンフレットの作成、相談会などの普及啓発を行っている。また、接骨師会、歯科技工士会では各会員の資質向上のために研修会を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民への普及啓発活動を中心とした健康保持事業や、会員の資質向上を目的とした医療技術研修事業は、直接区が行っているものではなく各団体の事業として行っているため成果が見えにくい。しかし区民の医療意識を高め健康保持を図ること、より技術力の高い治療を受けられる環境を整備していくことは区の責務である。また、地域の医療連携体制を構築することで区内医療機関における対応力の向上が図られる。従って、今後も各団体に対しての補助を継続する。一方で、各団体の事業内容の検証・見直しを継続し、補助金額の削減の可能性を模索していく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 各師会がおこなっている事業は区民の健康維持・福祉向上に大きな成果をあげていると考えるので、縮小・削減予定はない。よって、現状維持である。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区地域保健推進協議会の運営				整理番号	459		枝番号			
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	447		
係名 管理係					上位施策名				No			
予算事業名 保健事業の推進					コード	45750		健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理 対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 委員対象: 学識経験者、区内各団体の推薦委員、公募委員				根拠法令等 (1) 杉並区地域保健推進協議会設置要綱 (2) (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区民の健康づくりに関すること、地域保健医療計画の推進に関すること。保健・医療・福祉の連携に関すること。保健所及び保健センターの運営に関すること。その他、地域保健の推進に関することについての協議を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区における地域保健推進施策及び保健所の運営等について、各団体(区民)の代表である委員により、課題等を協議することで区民の健康保持・増進を図る。							
	活動指標名(式) (1) 協議会開催回数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)協議会議事数 (2)							
	区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		回	1	3	3	2	3	3	66.7		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		件	6	16	15	11	15	15	73.3		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	174	409	543	312	543	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.10	0.11	0.10	0.11	0.10				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	899	1,001	906	997			906	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	1,073	1,410	1,449	1,309	1,449				
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,073,000	470,000	483,000	654,500	483,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	1,073	1,410	1,449	1,309	1,449					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			地域保健推進協議会委員謝礼金(2回)				44	人	290			
			通知、資料等送付通信費						17			
			事務用品費						5			
			その他 ( )						0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	66.7	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	57.5
		議題の状況を考慮し、協議会の実施を2回とした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		議題を整理し、協議会の回数を最小限にとどめることで、委員報酬等経費の抑制に努めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年に、保健所運営協議会を廃止し、保健所運営協議会、健康づくり推進協議会の性格を併せ持つ杉並区地域保健推進協議会を設置した。平成13年度からは、区内の救急医療体制充実を図るため、地域保健推進協議会救急医療検討部会を設置し、平成13年度は小児初期救急、平成14年度は杉並区の救命救急について検討した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	委員からは、地域保健医療計画、保健・医療・福祉の連携、区民の健康づくり施策等について、貴重な意見を頂戴している。					
	今後の予測	杉並区における医療の充実、及び区民の健康保持を協議するとともに、保健所、保健センターの運営に際し、幅広い分野からの意見を伺うためにも、今後も地域保健推進協議会を継続する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由：地域保健施策及び保健所の運営について、幅広く区民や関係団体の意見を聴き、区民の健康保持・増進に努めている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容：経費は、委員謝礼、事務用品費、通信費のみのため、現状のままである。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容：受益者負担は発生しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容：実施回数の見直しによる経費減					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題 杉並区地域保健推進協議会は、区内の各団体からの推薦を受けた委員により構成され、十分な協働がなされている。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「特別区における地域保健医療計画推進協議会設置・運営指針」が廃止されたことから、地域保健推進協議会の設置が任意になった。しかしながら、杉並区における地域保健の充実、及び区民の健康保持を協議するとともに、保健所、保健センターの運営に際し、幅広い分野からの意見を伺うためにも、今後も地域保健推進協議会を継続していく必要がある。ただし、開催回数については、議題の状況により、減らすことも視野に入れていく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増		<input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減			<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	これまでどおりの運営となるので、増減は発生しない。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健所専門職員等による研修事業				整理番号	460		枝番号		
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150101	連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	448	
係名				管理係				上位施策名		No	
予算事業名				保健事業の推進		コード	45750		健康なまちづくりの推進		22
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地域保健法				
	保健衛生に関する知識を必要とする区職員及び関係団体職員						(2) 杉並区杉並保健所専門研修事業実施要領				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				対象者に保健衛生に関する専門研修を実施する。研修の講師は、保健所の技術・専門職の知識を活用するため、原則保健所の専門職で対応する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 保健衛生に関する知識を必要とする区職員及び関係団体職員等の資質の向上が図られ、区民福祉が充実している。				
活動指標名(式)				(1) 講座開催数 (2) 講座参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 受講生のうち、アンケート等により成果があったと答えた割合 (2)					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績		22年度			
指標	活動指標(1)		回	4	4	4	3	3	3	100.0	
	活動指標(2)		人	244	213	250	91	250	250	36.4	
	成果指標(1)		%	72	87	80	85	90	90	94.4	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	117	67	158	108	158	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 17年度実績 栄養士研修: 17年5月 (受講者15人) 介護予防研修: 18年1月 25日(40人)、1月23日 (36人)		
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.20	0.21	0.20	0.22	0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,799	1,911	1,812	1,993			1,812
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	1,916	1,978	1,970	2,101	1,970			
	単位あたりコスト( - )÷		円	479,000	494,500	492,500	700,333	656,667			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	1,916	1,978	1,970	2,101	1,970				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		介護予防相談従事者研修						1回	81		
		在宅栄養士研修						1回	27		
		その他 ( )							0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	75.0	活動指標(2)の17年度達成率%	36.4	17年度予算執行率%	68.4
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		保健衛生・高齢者・障害者・児童福祉分野が部として統合されたことによる研修の整理統合を図り、より効率的な企画及び実施のための検討が引き続き必要。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主として高齢者・障害者分野等の研修を実施してきたが、高齢者分野は介護保険の導入に伴い、介護予防研修の必要性が生じている。また、NPO等住民参加型の中小事業者が増加するなど、区民を取り巻く状況が変化している中で、介護をするための知識や技術の向上、薬物の乱用防止等に保健所としてアプローチしていく必要がある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	関係団体の中には、十分な研修を組めない団体もあり、多彩な専門職を有する保健所への期待が大きい。					
	今後の予測	保健福祉部他課とも連携を図りつつ、より効果的な研修を実施し、関係団体職員等の資質の向上を員名衛生・高齢者・障害者・児童福祉分野が部として統合されたことによる研修の整理統合を図り、より効率的な企画及び実施のための検討が引き続き必要。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 研修を通じて保健衛生に関する知識を必要とする職員の資質の向上が図られることにより、保健所はもとより高齢者・障害者・児童など関係分野全体の底上げに寄与。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 多くの職員等が研修に参加できるよう他の研修や日程など調整する。また、受講後のフォロー研修などで資質を高めていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 専門研修は、保健衛生の知識を必要とする区職員及び関係団体職員の資質の向上を図るために区が行うものであり、受益者負担には馴染まない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 研修の企画運営全ての経費で削減の結果である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 保健センター機能のひとつ「専門的技術支援」としての事業であるため。					
	(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成13年度、保健福祉部が統合されたことにより、それまで各課で行ってきた独自研修を整理統合することによって効率化を図ってきた。今後も現体系の専門研修を実施する。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 研修内容が多岐にわたり、組織間の調整が困難。 部内の各事業を掌握し、調整する必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 研修の効率的実施の検討をするとともに、現状の専門研修を継続実施する。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康都市の推進			整理番号	462		枝番号			
担当部課名		杉並保健所地域保健係		コード	15 0101		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	450
係名				管理係		上位施策名				No	
予算事業名				保健事業の推進		健康なまちづくりの推進				22	
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 健康増進法					
	全ての区民、団体、企業					(2) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			・健康都市杉並ファロは、区全体で行う中央イベント、保健センターを拠点として地域単位に取り組む地域イベント、協賛団体が実施する協賛イベントを区民・関係団体と協働し開催する。 ・区民、事業者、行政がともに健康都市杉並の今後を考えるため、健康都市指標等を活用した現状・課題の認識を行い、年1回健康都市白書を発行している(健康都市杉並の推進基盤整備事業、管理課) ・歯科検診及び歯科保健指導(口腔清掃等)、予防措置(健康推進課)		(3) 地域保健対策に関する基本の方針					
活動指標名(式)			(1) イベント参加者数 (2) 健康都市白書発行部数		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 健康都市の理念を共有し、健康づくりに関する地域ネットワーク化が図られている。						
成果指標名(式)			(1) (代)協賛・協力団体数 (2) (代)協賛イベント実施数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標						
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
	活動指標(1)	人	27,215	4,739	計画	実績	5,000	5,000	118.2		
	活動指標(2)	部	600	1,000	700	1,500	1,500	1,500	100.0		
	成果指標(1)	団体	41	33	40	48	50	50	96.0		
	成果指標(2)	回	22	23	30	34	40	40	85.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,018	3,446	4,477	2,846	4,616	特記事項(指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円						職員数(管理課)		
	(内)委託費		千円	1,468	3,226	2,956	1,496	2,956	16年度実績0.86		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.80	1.50	1.86	1.80	1.97	17年度計画0.80		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,189	13,650	16,852	16,308	17,848	実績0.63		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	18年度計画0.55		
	総事業費 ++		千円	19,207	17,096	21,329	19,154	22,464	実績		
	単位あたりコスト( - )÷		円	706	3,608	4,266	3,241	4,493	16年度からよい歯ファミリーフェスティバルを保健予防課から移設		
	財源	受益者負担分		千円						17年度実績0.31	
		国・都等からの支出金		千円						18年度計画0.62	
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	理念の浸透が目標。将来的な数値設定は目標に馴染まない。			
差引:一般財源 -		千円	19,207	17,096	21,329	19,154	22,464	イベント参加者数は16年度から環境博覧会、スポーツ祭を除き算出。			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			生活習慣行動調査(2,500標本、郵送料含む)				1	回	1,566		
			健康都市白書の発行				1,500	部	617		
			健康都市杉並ファロの開催				1	回	554		
			よい歯ファミリーフェスティバル開催				1	回	109		
その他 ( )									0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	118.2	活動指標(2)の17年度達成率%	214.3	17年度予算執行率%	63.6
		健康都市杉並ファロ事業は、概ね節減が達成されている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ファロ事業のうち地域イベントは、各保健センターで健康づくり自主グループ等との連携で実施されている。中央イベントの開催においても保健福祉部として一層連携を深めるとともに、関係団体や事業者との協働を進め取り組んでいく。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ファロ事業は、全ての区民が安心して健やかに生活できる「健康都市杉並の実現」に向けて、平成12年度から開催。これに伴って、翌13年度から白書を発行している。14年度から中央イベントの実施主管(予算面は15年度から)が保健福祉部管理課に移管、16年度から改めて保健所に移管している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	11月に行われる中央イベントは、健康づくり地域団体等の参加に比べ、一般区民の参加が少ない。事業内容やPR等を工夫し一般参加者を増やし、健康づくりに繋げていく必要がある。					
	今後の予測	健康都市基盤整備は、広範囲で細部にわたる展開が求められる事業。区民が主体となった事業展開を優先的に進めていくことが健康都市の理念の普及に効果的である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 健康な街づくりの理念の共有化を図るなど、健康都市杉並の推進基盤を整備する事業であり、健康なまちづくりの推進、健康を支えるまちづくりのために大きく貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 区民が区と協働しながら自ら健康なまちづくりを推進し、区民から区民へ運動を広めていくことにより成果を向上させることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 健康都市推進事業は区の事業であり、区民が主体的に事業を実施するにしても、負担を求めるものではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現状の経費は事務経費分であり、大幅な削減は困難。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 健康都市杉並の創造には、区のあらゆる分野の施策に健康の視点を取り入れて、より多くの区民・団体などの地域活動と連携し、かつ継続的に取り組むことが必要。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の方法を大きく変更することはないが、区民がより主体的に事業に係われるよう、区民の学習と自覚を促していくことが改革につながるものとする。そのため保健センターとの連携を深め、より一体的な事業展開が必要である。 区民の学習においては、健康都市指標など用いて、目に見える数値により具体的なイメージを持ってもらうことも一つの方法である。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区のあらゆる施策に健康都市の理念を取り入れ、その理念や健康都市の現況などについて、分かりやすく継続的に広報などすることからより多くの区民団体等との協働が可能となる。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 18年度は、保健福祉部の重要課題の一つ「生活習慣病・介護予防」に焦点を当て、ファロ事業の一環として各種事業を展開する。19年度においても引き続きこれに関連する事業を実施する予定。また、一般区民の参加を促すことを目標とする。						



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		喫煙対策の推進				整理番号	468		枝番号	1	
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	456	
係名		健康推進係			上位施策名			No			
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550	健康なまちづくりの推進			22		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区における喫煙対策指針 (3) 杉並区喫煙対策実施施設登録制度実施要綱						
	全区民及び、健康増進法第25条に規定する施設		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内公共的施設及び民間事業所・飲食店・医療機関等において、利用者の望まない受動喫煙を避けるため、禁煙・完全分煙を実施している区内の施設について、杉並区喫煙対策実施施設として登録し、公表することにより、受動喫煙を防止する環境づくりを進める。								
活動指標名(式)		(1) 喫煙対策実施施設登録表示プレートの配布数(累積)		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 喫煙している人の割合 (2)					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	25	188	500	57	300	1,600	3.6	
	活動指標(2)		件								
	成果指標(1)		%	28.8	28.8	28.0	22.8	22.8	20.0	114.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,931	1,638	2,162	1,856	1,332	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度から、「喫煙対策普及啓発」と「未成年の喫煙防止」に分けて、事業を行い予算を執行した。 「未成年の喫煙防止」は、別「未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用防止策」で評価した。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.86	0.82	0.29	0.26	0.35			0.25
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,735	7,462	2,627	2,356			3,171
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			723
	総事業費 + +		千円	10,666	9,100	4,789	4,212	5,226			
	単位あたりコスト( - )÷		円	426,640	48,404	9,578	73,895	17,420			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	10,666	9,100	4,789	4,212	5,226				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模		事業費(千円)		
		禁煙・分煙実施プレートを全面禁煙・時間禁煙・完全分煙別に作成し、配布した。					345	枚	886		
		その他 (成人用ポスター作成、印刷用チラシ、消耗品の購入 )							970		

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	11.4	活動指標(2)の17年度達成率%	17年度予算執行率%	85.8
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		分煙プレート作成経費が、予定額より安く購入できた。予定していた講演会を実施できなかった。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年の健康増進法施行に従い、公共施設の分煙化が進みつつあるが、飲食店などの店舗での分煙化の推進は17年度から始まったばかりであり、まだ実施店舗は少ない。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	飲食店等でも望まない受動喫煙を避けて欲しい要望は強い。公共施設や会社等では分煙化が進んでいる一方で、喫煙者からは喫煙可能な環境の整備を望む要望がある。				
	今後の予測	たばこに関する区民要望などの諸問題は、環境医学をはじめ最新の医学的知見などや社会道徳などの影響を受けやすいが、医療機関の禁煙指導が医療点数化されたことに伴い、今後、分煙化の要望は強まると思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: たばこ・喫煙の問題に様々な視点から取り組むことで、たばこによる健康被害を減少し、健康都市の実現に向け貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: NPO・企業等との協働により、飲食店や施設の分煙化を推進する。禁煙を希望する人への禁煙サポート教室の実施。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在のところ受益者負担となるものはない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 分煙化の推進については、個人事業主(飲食店)や医療機関等には、ある程度の成果を期待できるが、企業を巻き込んだ実施を今後も検討していく必要がある。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 分煙化の推進については、分煙プレートをより多くの施設に配布するため、普及啓発を継続して行い、分煙化を地域で進めるために、商店会・町会・区民が主体となった講演会・学集会等の企画を協働して取り組んでいく。 また、禁煙希望者及び喫煙者に対して、医療機関との連携を図りながら禁煙サポート教室や終了後のフォロー教室を実施する。さらに、禁煙外来情報の収集と提供等を行い、禁煙の実践に向けた支援を進める。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 禁煙・分煙実施プレートを広く普及していくには、各部課を連携するだけでなく、たばこの流通・販売業者、飲食店等、医療関係団体、消費者団体などの広い分野の理解と協力が必要となり、分煙化の推進を望む地域の声を受け止めて企画を推進する人材も必要である。 禁煙サポート教室は、禁煙を希望する区民の要望に応えるため、継続的に実施していく必要はあるが、医療機関との連携は不可欠であるが、その協力体制はまだ整備されていない。	
	(1) 19年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 継続して、喫煙対策実施施設登録店の普及啓発を行い、プレートを配布する。禁煙サポート教室は、18年度の結果を検証し、引続き効果的な実施方法を検討していく。

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		未成年者等の飲酒・喫煙・薬物乱用防止策			整理番号	468	枝番号	2		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	456	
係名				健康推進係		上位施策名		No		
予算事業名				健康づくりの推進		コード		46550		
						健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		17年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 健康増進法第25条				
	全区民、とりわけ未成年者とその保護者。					(2) 杉並区における喫煙対策指針				
						(3)				
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			学校の関係各部署と連携し、未成年者への喫煙防止対策を推進し、喫煙経験を少なくする。 未成年者を取り囲む環境を整え、区民との協働による未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用を許さないまちづくりを推進する。							
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 未成年者の喫煙防止ポスター・標語の応募数			(1) 中学生の喫煙経験がある割合							
(2) 中学生の飲酒・喫煙・薬物に関する調査回答数			(2) 中学生の飲酒経験がある割合							
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績				
	活動指標(1)	件				257	270	300	85.7	
	活動指標(2)	%				97.6	98.0	100	97.6	
	成果指標(1)	%				9.5	7.6	0.0		
成果指標(2)	%				51.5	41.2	0.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円			521	4,881	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度に「未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用防止策」として「喫煙対策」と事業を分けて実施した。15・16年度実績については、「喫煙対策」事業に計上し、その中で未成年者の喫煙防止策を実施した。		
	(内)投資的経費等		千円							
	(内)委託費		千円							
	職員数(常勤   非常勤)		人			0.50	0.55			0.25
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	4,530			4,983
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			723
	総事業費 + +		千円	0	0	0	5,051			10,587
	単位あたりコスト( - )÷		円				19,654			39,211
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	5,051	10,587			
受益者負担比率 ÷		%				0.0	0.0			
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)	
			未成年者の飲酒・煙防・薬物乱用防止ステッカー作成。				1,800	枚	623	
			未成年者の喫煙防止ポスター募集及びポスター作成と配布等。				2,000	枚	392	
			教材等の購入						156	
			その他 (喫煙対策普及啓発費)						(650)	

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%		活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	
		副読本の作成を市内印刷で行ったため、経費の節減ができた。ステッカー作成経費については、喫煙対策事業全体から執行した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度に未成年者の飲酒・喫煙・薬物対策部会を新たに設置し、18年度は推進事業の予算を増額している。それに関連し、教育に関する独自の副読本を作成し、教育現場での活用を依頼した。さらに、環境の整備として商店会連合会との協働により、自動販売機に防止ステッカーを貼った。また、杉並区防犯パトロール隊や警察署との協力により、地域のパトロールの強化等に取組んだ。自動販売機のステッカー貼付とパトロールは18年度も継続して実施していく。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	未成年者に対しては、喫煙だけではなく飲酒や薬物乱用の低年齢化も問題になってきており、業界の自主規制がここ数年大きく進んでいる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	17年度に実施した区内中学1、2年生を対象とした飲酒・喫煙・薬物に関する意識調査からは、飲酒・喫煙・薬物乱用防止についての意識は、全国と比較して高い結果となった。飲酒に関しての意識は男女差があまりなく、中学3年生においては半数以上に飲酒経験があった。					
	今後の予測	未成年者の喫煙、飲酒の低年齢化は、非行問題だけに留まらず、成長期の子どもの健康に害を及ぼす大きな問題となっている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 児童・生徒・保護者に対する知識の普及と青少年にとっての良好な環境づくりに貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 未成年者を取り巻く環境の整備と教育現場の取組みを推進する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在のところ受益者負担となるものはない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 青少年の良好な環境整備の視点からは、NPOやボランティアとの協働のあり方を検討し、今後は地域全体で推進していく体制を作る必要がある。学校教育の現場においては、飲酒・喫煙・薬物乱用防止の視点を取り入れた健康教育を充実させることで、児童・生徒・保護者への知識普及に大きく貢献すると考える。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 学校教育の現場において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止の視点を取り入れた健康教育が積極的に実施されるように、教育委員会に働きかけてモデル校を作るなど、実践的な取組みを進めていく。さらに、青少年を取り巻く環境の変化や企業の自主規制及び法整備等の状況をみながら、地域にあった環境整備を区民との協働により推進していく。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校教育の現場では、授業カリキュラムに余裕がなく、副読本を配布しても使われない現状がある。ポスターや標語の募集では協力的な学校も多くあるので、今後も教育委員会に協力を仰ぎながら進めていくと共に、社会状況の変化をみながら未成年者の喫煙・飲酒・薬物乱用が防止できる良好な環境づくりの方策を検討することが重要である。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	普及啓発として、ポスター及び標語の募集を行う。中学1年・3年を対象とした意識調査を隔年で実施する。未成年者を取り巻く環境整備を他部課と連携をとりながら、NPOやボランティアとの協働により推進する。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康づくり推進員				整理番号	469		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	457	
係名					健康推進係			上位施策名		No	
予算事業名					健康づくりの推進		コード	46550		健康なまちづくりの推進	22
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 国民の健康・体力増強対策について (2) 国民の健康づくり地方推進事業 (3) 杉並区健康づくり地区会補助金交付要綱				
	健康づくり推進員の健康なまちづくり活動拠点(区内9地区)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				健康づくり地区会ごとに健康づくり推進員が定例会議を通じて地域特性を活かした活動計画を作成する。計画に基づいて、健康情報提供のための講座等を運営し地域住民に参加を促す。また、健康なまちづくりを課題に町会・自治会をはじめた団体との交流や学習会を企画・実施する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 定例会議開催回数				(1) 地区会事業参加人数							
(2) 地区会事業開催回数				(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	回	102	92	90	88	90	90	97.8		
	活動指標(2)	回	64	73	45	77	70	70	110.0		
	成果指標(1)	人	2,159	3,972	1,350	3,172	3,200	3,000	105.7		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	887	860	894	852	894	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	4.13	3.46	3.60	3.60	0.05	3.41	0.05		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	37,145	31,486	32,616	32,616	30,895			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	145	145			
	総事業費 ++	千円	38,032	32,346	33,510	33,613	31,934				
	単位あたりコスト( - )÷	円	372,863	351,587	372,333	381,966	354,822				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	38,032	32,346	33,510	33,613	31,934				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)			
	健康づくり推進員活動助成					9	地区	765			
	推進員研修会					2	回	26			
	その他 (会議費等)							61			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	97.8	活動指標(2)の17年度達成率%	171.1	17年度予算執行率%	95.3
		研修会の講師謝礼金が、予算額より低く押さえることができた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		より多くの区民との協働を行い、地域の健康への意識を高めようとしたが、救命救急講習会が開催されるなど地域の健康をより具体的に守り育てようとする試みが見られ、徐々にではあるが、推進員の活動が地域に根付いてきた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初の推進員の役割への戸惑いがなくなっているが、保健センターの自主グループの活動と類似した点があり、地域に根ざした推進員の役割をもう一度確かめる必要がある。又、活動が定着するとともに、より安定して活動ができるように事故が起きた場合の補償の問題への関心も高まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保健センターからの情報が町会など地域へ流れやすい点が評価されている。					
	今後の予測	地域に根ざした健康づくり推進員が、地域でのイベントに積極的に関わることにより、地域住民からの推進員への信頼も高まると考える。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:健康を支えるまちの実現に向け、区民の健康づくりを身近な社会の中で支えていけるよう自主的な地域活動の充実を図る施策に大いに貢献している。地域からの健康都市を発展させている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:無料ボランティアであるが、自分達の地域を健康なまちにしていくという自己実現の意欲にささえられ活動を発展させている。区や地域からの活動の重要視及び表彰も必要					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:地域の主体的な活動への助成である。運営方法は、地域住民の決定であり、催しの内容によっては受益者負担を実施している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:活動助成の補助金は、すべて事業費として使われ、推進員は無料ボランティアとして活動している。現在でも活動費不足への推進員の不満がある中コストは下げられない。					
	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 地域への健康都市の実現に向けての普及啓発として、ファロ地域イベントや地域の交流会への企画運営など行政との協働により推進されている。地域のさまざまな団体や企業を巻き込み、自分達の健康を支えるまちの環境や仕組みづくりに向けた合意形成が図れるように、活動を発展させる。						
(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地区会活動を支援し講座の企画や各保健センターで実施する地域イベントにおける地域への健康づくりの普及や地域団体との交流を通じての健康なまちづくりへの話し合いなど、合意形成による健康なまちづくりが少しずつ根付いてきた。こうした活動をさらに各町会ごとに普及し、より多くの区民との協働による健康なまちづくり活動への発展をめざす。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 2年間で推進員の期間であるが、改選にあたっては半分以上の人が再び選ばれる傾向にある。これは継続性においてはよい点であるが、より多くの方が経験することによる地域の人々の意識変化のスピードが遅い面がある。そこで、半数以上の人々が新しい推進員となるような工夫が必要である。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 19年度は、推進員改選で新委員が登場する。これまでの活動の蓄積が失われないように、又、新たな活力ある活動がおこなわれるように、情報の積極的な共有を図っていく。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域健康づくり支援事業				整理番号	470		枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	458	
係名				健康推進係				上位施策名		No		
予算事業名				地域健康づくり支援事業		コード	46550		健康なまちづくりの推進		22	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 地域保健法第6条							
	健康づくり自主グループ活動を希望する区民				(2) 国民健康づくり地方推進事業実施要綱							
	健康づくり自主グループ活動を希望する区民				(3) 地域健康づくり支援事業実施要綱							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
保健センターで行う講座等の修了者に、自主グループ結成を促し健康なまちづくりに向けた自主的な活動が展開できるように育成支援する。				健康づくり自主グループを多数誕生させ、その成熟を目指した支援をすることにより、地域で主体的に活動する自主グループが増加する。こうした自主グループによるネットワーク活動から合意形成による健康都市の実現を図る。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 新規誕生自主グループ数				(1) 自立した(発足後3年経過)健康づくり自主グループ数/平成14年度に誕生したグループ数								
(2) 共同事業実施回数				(2) ネットワーク交流会参加グループ数/支援中の自主グループ数								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度			18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		グループ	28	17	20	27	20	20	135.0		
	活動指標(2)		回	22	25	25	24	25	25	96.0		
	成果指標(1)		%	70	32	60	29	60	60	48.3		
	成果指標(2)		%	145	104	90	118	90	90	131.1		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,122	1,086	1,647	1,089	1,644		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	5.26	5.58	5.37	5.54	0.05	5.38		0.05	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	47,308	50,778	48,652	50,192	48,743			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	145	145			
	総事業費 + +		千円	48,430	51,864	50,299	51,426	50,532				
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,729,643	3,050,824	2,514,950	1,904,667	2,526,600				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	48,430	51,864	50,299	51,426	50,532					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		地域団体との共同事業開催(5保健センター)				24	回	652				
		自主グループ交流会等ネットワーク事業(5保健センター)				900	人	308				
		地域活動支援としての講演会開催(5保健センター)				11	回	120				
		その他 (消耗品等の経費)						9				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	135.0	活動指標(2)の17年度達成率%	96.0	17年度予算執行率%	66.1
		共同事業の予算執行が低率になったのは、企画内容が、専門職員での対応などにより講師謝礼を節減できたことによる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		自主グループ間の交流を活発化させることが17年度の課題であったが、ネットワークの定例会で企画案を作成し、実施したが、他のグループの状況がわかるとともに、同じ健康づくりという目標をしながらも、相互に健康についての多面的な理解を進めることができたとする声があった。地域における活動は、こうした対面の関係から、新たな活動へと発展することが多い。ともすれば閉鎖的な活動になりがちな自主グループであるが、交流により、少し開放的な考え方が芽生えてきている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	各保健センターの自主グループが毎年誕生、発展させて健康づくり活動を推進してきた。さらに、平成12年に自主グループ各保健センター代表組織「杉並健康ネットワーク」を結成され、地域団体や住民向け講演会等を企画運営し、「健康都市」の実現を目指し活動を展開している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・健康づくり自主グループの活動について、又、保健センターの自主グループへの活動支援について積極的に住民に周知すべき。(定年退職後の地域の健康づくり活動による生涯現役を目指す)・自主グループになっても、活動の場の確保や職員の支援を継続してほしい。					
	今後の予測	自立グループの増加により、地域への健康的な活動の普及や発信を視野に入れたグループ活動への発展が期待される「杉並健康ネットワーク」活動の充実により、健康なまちづくりへの積極的な取組みなど協働の対象としての活動がさらに発展する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:健康づくり自主グループの活動支援から、住民の主体的な活動が発展し、健康なまちづくりに向けた住民参画につながっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:健康づくり自主グループとの共同事業は、住民企画によるさまざまな場や機会での講座の運営を可能にし、対象を広げることが可能となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:すでに受益負担を導入しているため					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:すでに最低限のコストで実施している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 事業の対象者(健康づくり自主グループ)が協働相手となるように支援している事業である。また、健康づくり事業としての講座の企画及び「健康都市杉並」推進イベント等では、協働が実現している。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 自主グループの活動や学習への支援を通じて、個人の健康づくりから健康なまちづくりに向けた活動へと、力量向上が確実に図れるよう、必要な情報を積極的に提供するとともに、支援活動の優先順位を明確にし、効率的な運営を図る。杉並健康ネットワークの活動から、各保健センター間の交流をはかり主体的な健康づくり活動を発展させる。						
(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 自主グループが、地域の課題に取り組むには、課題の発見や解決に向けて、専門的な知識や組織運営の力量が必要とされる。そこで、行政は、専門的な情報を適時に提供していくなどして、健康づくりのボランティア活動の質を高いものにしていく必要がある。又、自主グループから発信されるさまざまな課題を的確に受け止める職員の対応能力を養う必要もある。							
19年度方針	(1)19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2)理由	職員の支援技術の向上に対応し、予算の増減はない。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特定給食施設指導				整理番号	475		枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	463	
係名				健康推進係				上位施策名		No		
予算事業名				特定給食施設指導		コード	46950		健康なまちづくりの推進		22	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		27年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 健康増進法第18条の2、第20条、第21条の3、第22条 (2) 杉並区健康増進法施行規則第3条、第4条、第5条 (3)					
	特定給食施設及び栄養管理指導の必要な給食施設											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
栄養管理が必要な給食施設に対して巡回及び来所指導、提出された栄養報告等をもとに喫食者の健康維持増進に向けて必要な指導を行う。また、栄養情報の提供や給食調理技術の向上を図るため、施設管理者、栄養士、その他従事者を対象にした栄養管理講習会等を開催する。				給食施設等への指導を通じて喫食者の健康の保持増進を図る。各特定給食施設等が健康に配慮した給食の提供と健康情報の提供を行うことで、喫食者が主体的に健康づくりを行う知識を習得できる施設になる。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 施設への巡回指導及び来所指導件数				(1) 基準栄養量に見合った給与栄養量を確保している施設数 / 栄養報告書提出施設数								
(2) 講習会参加者数				(2) 喫食者に栄養及び健康教育を実施した施設数 / 栄養報告書提出施設数								
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)		施設	87	63	100	189	100	100	100	189.0	
	活動指標(2)		人	144	152	150	189	150	150	150	126.0	
	成果指標(1)		%	51	76	60	64	60	70	70	91.4	
	成果指標(2)		%	50	71	60	74	70	70	70	105.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	326	271	361	269	361	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.92	0.77	0.87	0.27	0.50	0.16	0.55		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,274	7,007	7,882	2,446	1,450			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	1,445	1,590			
	総事業費 + +		千円	8,600	7,278	8,243	4,160	3,401				
	単位あたりコスト( - )÷		円	98,851	115,524	82,430	22,011	34,010				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	8,600	7,278	8,243	4,160	3,401					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			栄養管理者講習会				2	回	122			
			栄養技術講習会				2	回	121			
			巡回指導				11	件	26			
			特定給食施設と協働による区民への健康づくりの普及活動				3	回				
			その他 ( )					0				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	189.0	活動指標(2)の17年度達成率%	126.0	17年度予算執行率%	74.5
		ほぼ目標を達成した					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		栄養所要量から食事摂取基準への変更、食事バランスガイド、介護保険制度の見直しなど国のおおきな仕組みの変化により、給食管理に関する帳票の変化や栄養指導が重要視されてきた。これらに対応して講座や自己研鑽としての集団給食研究会の活動を支援した。また、区内給食施設の約8割が加入する集団給食研究会との協働により、主体的な栄養管理の向上に向けた活動及び、一般区民を対象とした健康づくりの普及を積極的に行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	近年、外食利用の増加等により集団給食の役割が変化してきた。給食運営においては、朝食欠食者の増加や嗜好偏重等飽食対策が求められ食教育に重点が置かれ始めた。また、喫食者の健康管理や栄養指導を重視した給食提供へと給食運営の主旨が変更されてきた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	食事摂取基準の考え方を給食管理にどのように活用すべきか、理解できた。介護予防の具体的な実習から具体的な滑らかさや味が理解しやすい。講習会を通じて交流や意見交換ができてよかった。					
	今後の予測	働き盛りへの給食を提供する施設では、メタボリックシンドローム対策にむけた食事バランスガイドの活用、児童、施設においては食文化や食物の生産や調理を含めた食育の推進、高齢者施設においては介護予防の栄養計画や評価の基準や帳票の記載方法の検討が必要となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:給食を通じて、区民の食習慣改善、生活習慣病予防のきっかけ作りの場として重要である。給食を通じた家庭や地域の健康づくり活動の普及や地域のネットワークづくりを強化することで健康なまちづくりの一助となる					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:受益者負担を導入する性格の事業ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:最低限のコストで事業を行っている					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 区内給食施設の8割が加入する主体的な活動団体である杉並区集団給食研究会との協働により、給食施設の効果的な給食管理や地域の健康づくり活動の普及を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減    コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の集団給食研究会の主体的な活動によるネットワークを充実させ、施設別の重要課題への対応、地域別の健康づくりの課題などに対応した企画や活動を行い各々の施設の給食管理による効果をあげる。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特定施設指導のあり方が変化し、栄養管理計画や評価等の事務作業の増加や厳しい従事体制のなかで各施設から講習会や会議への出席が困難な状況がある。勤務時間外の設定や給食管理に即対応できる内容を検討し効果的な活動につなげる。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 給食を通じて自分の適量についても何をどれだけ食べたらよいかを理解できるように各施設の効果な食育の方法について検討する。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ヘルシーメニュー推奨店				整理番号	483		枝番号						
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	470					
係名					健康推進係					上位施策名		No			
予算事業名					健康づくりの推進					コード		46550			
事業開始年度					○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
事務事業の概要	事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理									
	対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					「ヘルシーメニュー推奨店」を認証し喫食者の健康に配慮する飲食店を区内に増やす。区民の健康的な食の選択に向けて、栄養表示や健康的なメニューを提供する飲食店や栄養アドバイザーの知識・技術の向上に向けての研修や講習会も行う。ヘルシーメニュー推奨店の取り組みを契機に商店会の主体的な活動による健康なまちづくりを支援する。									
	活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ヘルシーメニュー推奨店の認証数 (2) ヘルシーメニュー推奨店への取り組み数									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					日常的に外食に依存する働き盛りの健康的な食の選択を支援する環境が整備される。店の利用者のみならず、飲食店や地域の商店を営む人達の健康の維持増進も図る。ヘルシーメニューの需要増加が、商店会の主体的な健康づくり活動を喚起発展させ地域団体と連携し健康なまちづくりモデルとなる。									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		店舗	41		50		60		28		60	60	46.7	
	活動指標(2)		店舗	70		63		60		45		60	60	75.0	
	成果指標(1)		%	58		65		80		85		80	80	106.3	
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,431		1,359		2,211		1,343		3,228		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円												
	(内)委託費		千円												
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.92		0.92		1.12		1.35	0.25	0.53	0.35		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,274		8,372		10,147		12,231		4,802		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		723		1,012		
	総事業費 + +		千円	9,705		9,731		12,358		14,297		9,042			
	単位あたりコスト( - )÷		円	236,707		194,620		205,967		510,607		150,700			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	9,705		9,731		12,358		14,297		9,042				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)				
			ヘルシーメニュー推奨店新規認証、再認証にむけたフォローアップのための栄養指導員派遣						68	人	734				
			推奨店対象、栄養指導員対象の栄養指導講習会の開催						5	回	176				
			商店会主体による健康的なまちづくり活動の支援(ヘルシーストリート)						6	回	162				
			その他 ( 事業にかかる需用費 )								271				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	46.7	活動指標(2)の17年度達成率%	75.0	17年度予算執行率%	60.7
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		再認証店に対するフォローアップや推奨店同士のネットワークづくりなど、登録済みの推奨店に対する取り組みを重点的におこなったため、活動指標(1)(2)の達成率が低率となった。また、講習会等については民間技術者講師による開催などにより予算執行率が低率となった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主に商店会ごとに取り組み、ヘルシーメニュー推奨店を誕生させてきた。また、商店街全体の活性化や健康な商店街づくりにつなぐために、商店会のイベントなどの企画運営にも参加している。近年、飲食店自らが、本事業に申請してくるケースが増えてきた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	(客より)・栄養成分表示が食事を選ぶときの参考になる。健康のことは気になるので良い取り組みをしていると感じる。(ヘルシーメニュー推奨店より)・他店の取り組み状況などの情報がほしい。・栄養成分表示をすることによって客とのコミュニケーションが広がった。					
	今後の予測	ヘルシーメニュー推奨店が多数誕生してくるにより、他の飲食店や区民にも周知され、ヘルシーメニュー推奨店を希望する飲食店が増えてくることが予測される。また、再認証店が中心になり、今後の発展に向けてネットワークをつくり、主体的な活動をすすめていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:働き盛りの男性等が健康的な食事を選択できる環境が醸成し、生活習慣病予防や健康づくりに貢献する。また、生活習慣病が気になる人でも、栄養成分表示を参考に食事を調整することができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 人件費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容:ヘルシーメニュー推奨店が増えてきて、現在の常勤職員と雇いあげ栄養指導員ではヘルシーメニュー推奨店の現状把握とフォローアップの対応が困難である。 理由または具体的内容:現状把握を行う食環境調査員、フォローアップを行う表示メニュー改善員を増加する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:健康的な食事提供に取り組むように飲食店に動機付けを行うことは行政の役割である。再認証にむけて、取り組みを充実させるために受益者負担を行っていく計画である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:すでに最低限のコストで実施しているため。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題:地域のNPOであるため、地域の食環境づくりに熱心に取り組み、住民同士のネットワークづくりをすすめる。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						
	今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		(1)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新規のヘルシーメニュー推奨店の開拓と並行して、食環境調査員、表示メニュー改善員を活用したフォローアップ体制を充実させ、ヘルシーメニュー推奨店の現状把握及び栄養成分表示の改善等タイムリーな対応を行い、利用者の健康づくりと店主等の健康的な取組意識を喚起する。また、ヘルシーメニュー推奨店のネットワークをさらに活性化させ、ヘルシーメニュー推奨店の主体的な活動が商店街全体に波及していくよう支援する。		
19年度方針	(1)19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		(2)理由 各保健センター地域ごとに健康なまちづくりを視野にいれて新規のヘルシーメニュー推奨店の開拓を行う。毎年60店舗ほど増加するヘルシーメニュー推奨店に対して、フォローの仕組みを充実させ、区民の利用促進により健康的な食環境を展開する。			



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健センター維持管理				整理番号	509		枝番号		
担当部課名		荻窪・高井戸・高円寺・和泉・上井草保健センター コード				連絡先電話番号	3334-4504		昨年度整理番号	498	
係名 業務係		上位施策名								No	
予算事業名		保健センター維持管理 コード 49450				健康なまちづくりの推進				22	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条例 (3) 杉並区保健センター条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって快適な環境を整備する。						
	活動指標名(式)		(1) 建物面積 1m <sup>2</sup> (2) 保守委託契約件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合件数 (2)						
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績	計画	22年度			
	活動指標(1)	m <sup>2</sup>	5,893	5,893	5,893	5,893	5,893				
	活動指標(2)	件	51	43	43	48	47				
	成果指標(1)	件	52	59	59	51	52				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	53,011	54,533	62,547	65,741	61,582	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 保健センター面積(単位:m <sup>2</sup> ) ・荻窪 = 1335.88 ・高井戸 = 1356.74 ・高円寺 = 1764.74 (分室含む) ・上井草 = 815.37 ・和泉 = 620.18		
	(内)投資的経費等		千円				1,637	1,538			
	(内)委託費		千円	29,908	28,309	30,026	28,941	29,066			
	職員数(常勤   非常勤)		人	6.38   0.00	6.01   0.00	6.01   0.00	6.01   0.00	6.06   0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	57,382	54,691	54,451	54,451	54,904			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	110,393	109,224	116,998	120,192	116,486			
	単位あたりコスト( - )÷		円	18,733	18,535	19,854	20,118	19,506			
	財源	受益者負担分		千円	248	230	229	231			230
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	248	230	229	231	230				
差引:一般財源 -		千円	110,145	108,994	116,769	119,961	116,256				
受益者負担比率 ÷		%	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		清掃業務請負(委託)				4	式	18,894			
		機械設備保守(委託)				4	式	2,774			
		光熱水費				12	月	12,440			
		修繕費				51	件	3,013			
		その他 ( )						28,620			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	111.6	17年度予算執行率%	105.1
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		妊産婦等の利用者から要望の多い女子トイレをウォッシュレットに改修した。乳幼児身長体重計を新しく賃貸借契約し、低コストで、より正確に素早い計測を可能にした。心電計については、年1回のスポット点検にして委託費の節約を図っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められている。センターは施設の老朽化に伴い、設備修繕が多々発生し、医療機器も耐用年数を超え、交換の時期を迎えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	事務室が2階にあるところは、長年エレベーターの設置要望がある。また、洋式トイレが少なく、増設が望まれている。センターへの施設誘導表示板が古くなり見にくいので、改善の要望がある。					
	今後の予測	開設当初より、事務室を2階に建築しているセンターは、現在妊産婦の利用者や難病を抱えた方、障害のある方などの来所に困難をきたしている。職員が1階受け付けにて対応するなどしているものの、今後の件数増加に因應するために早急なエレベーター設置が必要である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスの提供とは保健福祉の向上に欠かせない施設である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 施設の老朽化により維持費や修繕費が増加している。区民のだれもが利用しやすい施設にするためには費用増が見込まれる。 理由または具体的内容: 誰もが利用しやすい施設にするためにエレベーターの設置やトイレのベビーベッド整備授乳室確保など施設設備の大規模な改修工事が必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 地域保健法に基づく利用者または保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は妥当であるが使っていない時間に利用できる会議室の範囲を広めることは可能である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 18年度は機械設備保守と清掃業務保守がグループ契約し、かなりのコストダウンを図れる予定である。たとえば5箇所の保健センターをひとつにまとめて保守契約をするなど検討の余地はある。					
	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 専門業者により適切な施設維持管理が行われているが、更なるコストダウンとともに今後ISO14001の教育訓練の徹底など質の向上も求められる。						
(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )							

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減    コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の保健行政に対する需要は年々多様化し、それに因應するため安全で快適な保健センター維持管理運営の果たす役割は大きい。特に妊産婦や高齢者、障害者の利用頻度が高いが、荻窪を除き設立年数が古くバリアフリー対応ができていない。今後エレベーターの設置や段差の解消、空調機の適切な設置など営繕課と協議しながら改善を図る。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 財源の確保が困難であると思われるが、営繕課調査を通して改革案を働きかけていく。
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 保守委託契約などについては無駄を省き、より質が高くコストの低い維持管理運営をおこなう。一方バリアフリー化について所内のできるのところから予算化を図るとともに、毎年区民より要望のあるエレベーター設置を営繕課に働きかけていく。    また情報セキュリティをさらに進めるために備品購入や鍵設置など改善策のための予算増加が見込まれる。